

住民負担の公平性を保つため 不納欠損額を減らす努力を

Q & A

決算審査の 質疑から

歳入歳出全般の審査の主な内容

Q 滞納対策は。

A 所管課ごとに様々な取組みがなされている。特に税務課では対予算200%以上の収納実績となっている。

督促状・催告書の送付、財産調査などを行い、それでも徴収できない時に不納欠損としている。

ただ、滞納金の種類も様々で全庁的に統一することは困難であるが、課による違いもあるので早急に検討し、具体的対策を講じる必要がある。

Q 大規模地震災害対策基金とは。

A 毎年年度末に各種団体などからの寄付と一般財源3000万円を用途に積み立てている。積立額は、その年度の財政状況によるため変動はある。

目標額は3億円。

水道事業会計決算審査の内容

Q 配水及び給水費で予算を超えた支出がある理由は。

A メーターの取換えに伴う修繕費である。在庫品を使用し、ため現金の動きはないが、経費は使用したという企業会計処理の考え方で実行率が100%を超えた。



安心で安全な水を家庭へ（北伊予浄水場）

Q 水道事業会計の今後は。

A 水道水は、1mあたりの供給単価が97円57銭に対し給水原価が101円45銭のため売るたびに損となり実際には赤字である。

今までは留保資金でやってきたが限界もあり、今後は料金改定も必要になってくる。

◎総務産建分科会では

Q 土地開発基金からの繰入金
を6500万円予定していた
が収入がゼロとなっている理
由は。

A 北黒田海岸整備事業を翌年に繰越したため、基金からの繰り入れを行わなかった。

Q 入札の落札率については。

A 建設工事は、最低制限価格があるため落札率に下限があるが、業務委託や物品購入については、下限がないので落札率が低い場合がある。予算計上に際しては、過去の実績を参考にしつつ改善できる点は改善していきたい。

Q 国体準備室の報奨金は。

A ホッケー・ボクシング教室をそれぞれ1回開催した際の講師謝金である。